

社会資本総合整備計画 事後評価書												令和07年10月02日				
計画の名称	きれいな小川とくらしでまちを元気にする能勢町下水道（その3）															
計画の期間	令和02年度 ～ 令和06年度（5年間）											重点配分対象の該当				
交付対象	能勢町															
計画の目標	下水道普及率の向上、安心・安全・快適な暮らしの確保を目指す。															
全体事業費（百万円）		合計（A+B+C+D）		506	A	506	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2	R4	R6
1	未普及地区の下水道整備を推進し、普及率を26.0%（R2）から31.3%（R6）に増加させる。			
	下水道処理人口普及率：下水道を利用できる人口（人）／総人口（人） 令和2年3月末：2,546／9,813（人）、令和5年3月末：2,663／9,144（人）、令和7年3月末：2,733／8,723（人）	26%	29%	31%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	能勢町	直接	能勢町	管渠（ 污水）	新設	能勢処理区上山辺地区外 の污水管渠整備	φ200他污水管渠L=7.7km	能勢町	■	■	■	■	■	506		—
											小計						506		
											合計						506		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
能勢町まちづくり推進部にて事後評価書(案)を作成の上、パブリックコメントを実施	令和7年度
	公表の方法 能勢町ホームページにて公表

○事業効果の発現状況

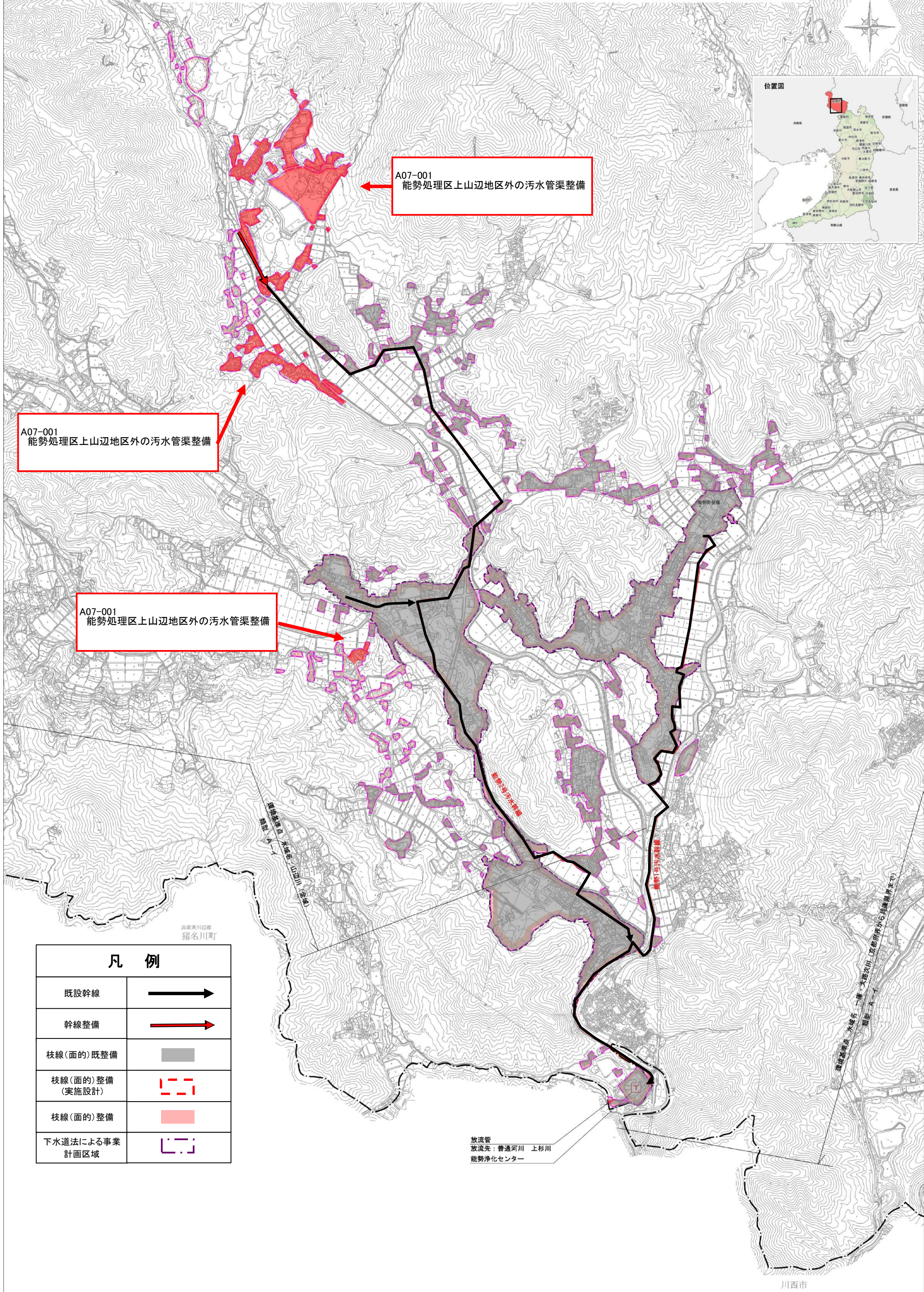
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	当初計画では、能勢処理区上山辺地区外の污水管渠整備（φ200他污水管渠L=7.7km）を506百万円の事業費で実施する予定であったが、令和6年度末時点で、能勢処理区上山辺地区外の污水管渠整備（φ200他污水管渠L=5.0km）を346百万円の事業費で実施した。 人材不足に加え、下水道事業の企業会計移行や、水道事業の大阪広域水道企業団移行による工事発注量の調整に伴い、当初の計画と比べて進捗に遅れが生じているが、効率的に事業を実施し、普及率を25.7%(R2年当初)から28.8%(R6年末)まで向上させ、未普及地区の整備の推進を図った。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	・下水道普及率の向上により、公共用水域の水質保全が図られた。 ・合併浄化槽からの切替助成により、下水道への接続促進が図られた。

○特記事項（今後の方針等）

・未普及地区への管渠整備を推進し、安心・安全・快適な暮らしの確保を目指す。 ・下水道普及率の向上を推進し、公共用水域の水質保全を図る。
--

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			主な要因として、技術職員の不足に加え、下水道事業の企業会計移行や、水道事業の大阪広域水道企業団移行による工事発注量の調整に伴い、整備の進捗に遅れが生じたため。
	最 終 目標値	31%	
	最 終 実績値	29%	

計画の名称	きれいな小川とくらしでまちを元気にする能勢町下水道（その3）		
計画の期間	令和2年度 ～ 令和6年度 （5年間）	交付対象	能勢町



能
勢
町